絵本・児童書ご担当者様　【好評既刊のご案内】震災・防災関連の棚に

つむぐ舎

【11/3 射水市大島絵本館でのイベント「いのちの絵本」で元NHKアナウンサー村上信夫さんに朗読いただきました！】

【1月ラジオ大阪「あなたとわたしの絵本の世界」で朗読決定！】

産経新聞・奈良新聞など書評欄でも取り上げられています！

全国学校図書館協議会選定図書にも選定！



絵本の窓 ● 706 ●

震災の記憶風化させず

1年間にわたり本欄で21冊の絵本を紹介してきましたが、今回が最後の一冊になります。締めくくりに選んだのは、今年3月11日―東日本大震災の日に刊行された絵本です。

この日に出版された背景には、阪神・淡路大震災から31年、震災の記憶を風化させず、「命」や「防災」について考え続けてほしいという願いが込められています。

神戸出身の私にとっても家族と連絡が取れなかった不安や友人を失った悲しみ、町が消えた喪失感は、今も消えることがありません。

主人公は小学3年生のダイスケ。気づくと帰り道が分からなくなり、文房具屋のおじさんやタクシー運転手に助けられながら、さまざまな場所へと導かれていきます。青空と海が広がる商店街を走る黄色いタクシー。優しい絵の奥に、深い切なさが潜います。

本作は、喪失を抱えた家族が時間をかけて自然を取り戻していく、再生の物語です。阪神・淡路大震災をきっかけに誕生した「防災100年えほんプロジェクト」で選ばれたものがたりを読者にして、生まれました。

大切な人をてくした人の心に寄り添い、前へ進む力を静かに支えてくれる一冊です。

（絵本専門士・「きくらい読書の森」代表・木口啓子）

また、かえりみちがわからなくなった。ありのくろき原案、まめそら文、くぼたひろこ絵、つむぐ舎、税込み1760円

＞参考年齢＝小学校低学年から（出版社による）



「こんな話だと思わなかった！子どもの読書感想文用に読んで、自分が泣いてしまった」

●

「切ない。けれど、彼を忘れず、後悔を繰り返さないための活動をする家族の姿に胸を打たれる」

などなど…

★来年1月2月も全国各地で朗読イベントが続きます！

奈良新聞（2026年3月30日）掲載

【絵】くぼたひろこ

2022 年イタリア・ボローニャ国際絵本原画展入選。主な作品に絵本『おやつきかんしゃ』（あかね書房）、「ほぼ日手帳」カバーイラスト、ミュージシャン JUJU の「こたえあわせ」Music Video イラストレーションなど。

- **学校現場での読み聞かせや、防災学習にも取り入れられ始めています**
- **自然災害に備えるための防災ページもあり。親子で防災を話し合うきっかけの一冊に**

書誌情報はこちら！

阪神・淡路大震災からはじまる家族の物語

ご注文は JRC へ▶▶▶▶▶　受注 FAX　03-3294-2177

JRC 経由ですべての取次（トーハン、日販、楽天ブックスネットワークなど）に出荷可能です。　Tel：03-5283-2230
返品は長期にお受けいたします。子どもの文化普及協会、Book Cellar からも注文可能です。直取引も承ります。

番線印	また、かえりみちが わからなくなった。 ありのくろき原案　まめそら文　くぼたひろこ絵 定価 1760 円（本体 1600 円＋税） A4 変形判上製本・32 頁　ISBN978-4-910849-02-7　C8793 つむぐ舎	注文数
ご担当者		冊

つむぐ舎　〒567-0886　大阪府茨木市下中条町 4-15　TEL＆FAX：072-620-0787